

2024年度 第3四半期 決算説明資料

2025年2月7日
日本製紙株式会社



とともに未来を拓く



連結損益概要

(億円)

	2023年度 3Q累計実績	2024年度 3Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	8,745	8,863	118	1.3%
営業利益	93	111	18	19.2%
経常利益	76	128	52	68.4%
当期純利益*	▲83	1	84	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

国内・海外別営業利益推移 (億円)

	2024年度			
	1Q	2Q	3Q	計
国内	80	76	90	246
海外	▲39	▲96	0	▲135
合計	41	▲20	90	111

- 売上高は、グラフィック用紙の需要減少影響があるものの、家庭紙・ヘルスケアやケミカルの売上高が伸長し、前年同期比で増収。
- 営業利益は、生活関連事業(国内)やエネルギー事業が堅調に推移し、前年同期比で増益。



セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 3Q累計実績	2024年度 3Q累計実績	前年 同期比	2023年度 3Q累計実績	2024年度 3Q累計実績	前年 同期比
紙・板紙	4,306	4,294	▲12	81	68	▲13
生活関連	3,285	3,431	146	▲60	▲69	▲9
エネルギー	392	355	▲37	▲3	20	23
木材・建材・ 土木建設関連	538	557	19	67	61	▲6
その他	224	226	2	8	31	23
合計	8,745	8,863	118	93	111	18



増減要因内訳

(億円)

			紙・板紙事業		生活関連事業	
	数量・売価	43	▲15	—	58	—
	原燃料価格	▲39	▲20	チップ▲26、古紙▲53、パルプ▲4、 重油▲4、石炭 86、LNG 0、薬品他▲19 (価格影響 38、為替影響▲58)	▲19	パルプ▲9、石炭 3、 薬品他▲13
	コストダウン等	▲18	▲7	原価改善 44、労務費▲17、物流費▲34	▲11	原価改善 4、労務費▲5、 物流費▲10
	その他	▲8	29	海外事業 15、減価償却 12、退職給付費用 30、 受払影響ほか▲28	▲37	海外事業▲38、減価償却▲7、 受払影響ほか 8
	合計	▲22	▲13	国内▲28、海外 15	▲9	国内 29、海外▲38
その他事業		40	エネルギー 23、木建土▲6、その他 23			
営業利益		18				
営業外損益		34	金融収支 13、持分法投資損益 47、為替差額▲33、その他 7			
経常利益		52				

紙・板紙事業

(億円)

売上高			営業利益		
2023年度 3Q累計実績	2024年度 3Q累計実績	前年同期比	2023年度 3Q累計実績	2024年度 3Q累計実績	前年同期比
4,306	4,294	▲12	81	68	▲13

- 国内
 - 洋紙と板紙の国内販売数量は、需要が低調に推移し、前年同期比で減少。
 - 石炭等燃料価格が安定したことや原価改善発現効果あるも、労務費・物流費のコストアップにより、前年同期比で減益。
- 海外
 - 十條サーマル(JTOy)は、欧州市場での感熱紙需要の低迷が続くが、前年同期比では販売数量が回復し増益。



生活関連事業

		(億円)					
		売上高			営業利益		
	2023年度 3Q累計実績	2024年度 3Q累計実績	前年 同期比	2023年度 3Q累計実績	2024年度 3Q累計実績	前年 同期比	
国内	1,603	1,697	94	54	83	29	パッケージ 5、ケミカル 20 家庭紙・ヘルスケア 4
海外	1,682	1,734	52	▲114	▲ 152	▲38	Opal▲3、NDP▲35、TSP 0
合計	3,285	3,431	146	▲60	▲ 69	▲9	

- 国内
 - ・溶解パルプ(DP)や、機能性コーティング樹脂、トイレットロールなどの販売数量は増加。
 - ・ティッシュや液体用紙容器などの販売数量は減少。
 - ・製品の価格修正が寄与したことで、増収増益となった。
- 海外
 - ・Opalは、為替影響もあり前年同期比では減益も、固定費削減などの原価改善を進め、メアリーバール工場、パッケージ事業とも四半期ごとの収益は改善。
 - ・NDPは、上期の寒波や長期休転影響により前年同期比で減益だが、長期休転を終え、生産体制が平常に戻った第3四半期は前年同期比で増益。

エネルギー事業

(億円)

売上高			営業利益		
2023年度 3Q累計実績	2024年度 3Q累計実績	前年 同期比	2023年度 3Q累計実績	2024年度 3Q累計実績	前年 同期比
392	355	▲37	▲3	20	23

・石炭価格の下落に伴う販売電力価格の低下によって前年同期比で減収となった。

木材・建材・土木建設関連事業

(億円)

売上高			営業利益		
2023年度 3Q累計実績	2024年度 3Q累計実績	前年 同期比	2023年度 3Q累計実績	2024年度 3Q累計実績	前年 同期比
538	557	19	67	61	▲6

・新設住宅着工戸数が減少したものの、燃料チップの取扱量が増加したことなどにより、増収となった。



連結損益概要

(億円)

	2023年度 実績	2024年度 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	11,673	12,000	327	2.8%
営業利益	173	230	57	33.2%
経常利益	146	190	44	30.6%
当期純利益*	227	30	▲197	▲86.8%

* 親会社株主に帰属する当期純利益

■2024年度の業績予想は、2024年5月15日に公表した内容から変更ありません。
(ただし、営業利益のセグメント別内訳は、2024年11月に予想を見直し済み。)

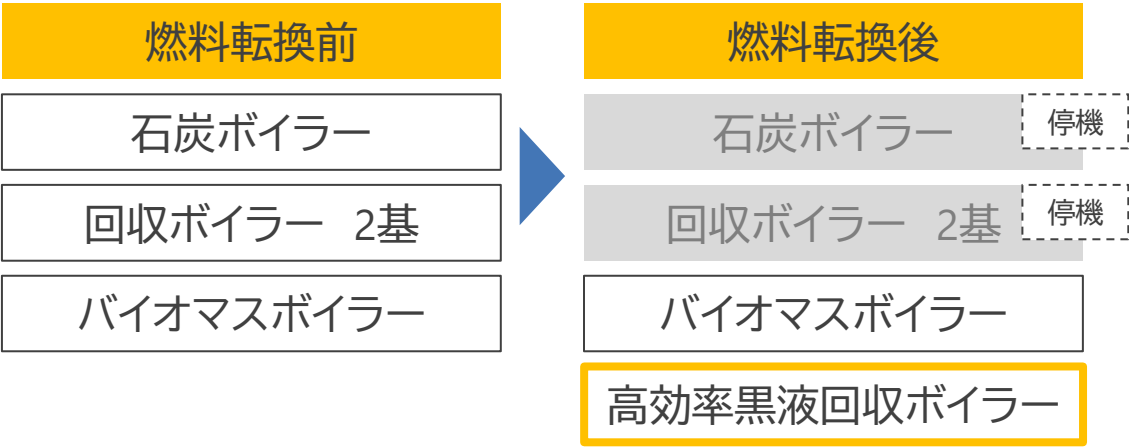


石巻工場の燃料転換

- ・ 高効率な黒液回収ボイラーの設置、石炭ボイラーの停機により、GHG排出量の大幅削減を実現
- ・ 2030ビジョンにおける環境投資(520億円)の一環
- ・ 低GHGバイオマス製品の拡大に向けた基盤整備

設備投資計画

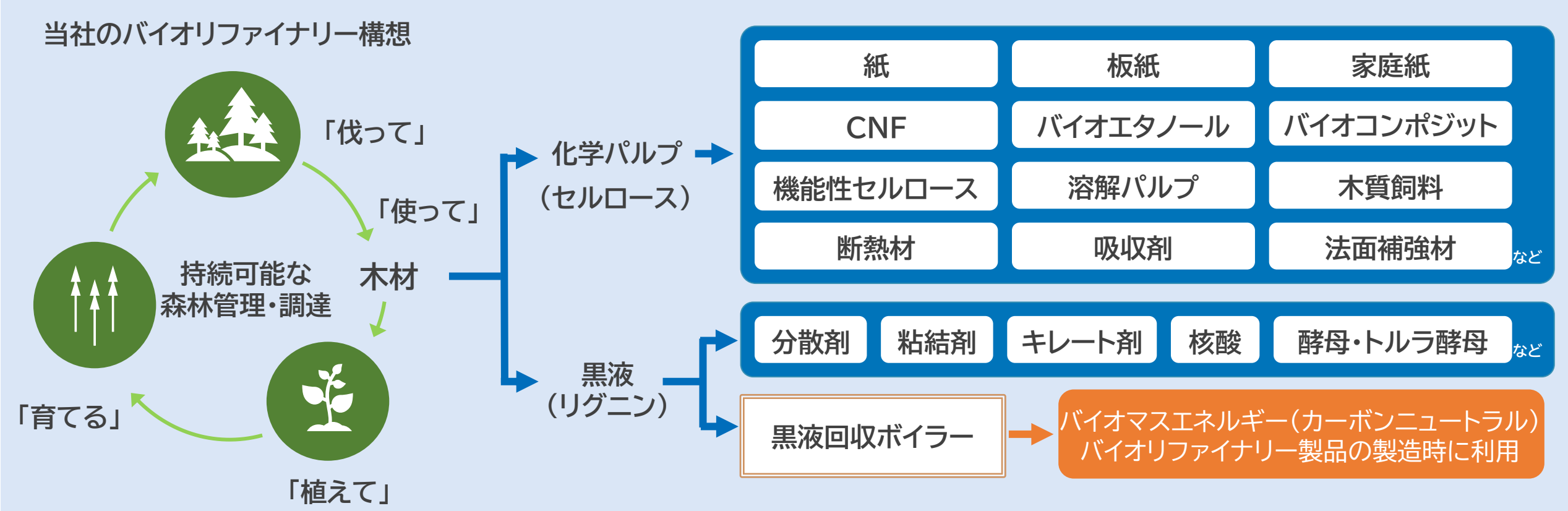
稼働設備	高効率黒液回収ボイラー
稼働開始	2028年度 第4四半期
GHG排出量削減	50万t-CO ₂ e* ¹ <u>当社排出量*²の10%</u> (79万4千t-CO ₂ e → 29万4千t-CO ₂ e)
投資規模	555億円 (うち政府支援上限額:183億円* ³)



*¹既存石炭ボイラーの停機による削減効果を含む
*²製品製造に関わるScope1およびScope2排出量
*³経済産業省「排出削減が困難な産業におけるエネルギー・製造プロセス転換支援事業」に採択(2025年1月)



- 国産材を活用し、多種多様なバイオマス素材を生産
- 石巻工場をはじめ、国内工場や海外拠点に展開



2030ビジョンで掲げる新規事業の売上高650億円を実現

参考資料

日本製紙株式会社





セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 実績	2024年度 予想	前年 同期比	2023年度 実績	2024年度 予想	前年 同期比
紙・板紙	5,702	5,650	▲52	117	100	▲17
生活関連	4,368	4,800	432	▲81	▲20	61
エネルギー	537	500	▲37	16	30	14
木材・建材・ 土木建設関連	755	750	▲5	98	85	▲13
その他	311	300	▲11	23	35	12
合計	11,673	12,000	327	173	230	57



主要な前提条件

■国内販売数量(対前年)

	下期	通期
新聞用紙	▲8%	▲9%
印刷用紙	▲3%	▲7%
情報用紙	▲4%	▲4%
段原紙	1%	▲1%

■主要原材料価格、為替

	下期
為替(米ドル)	155円/ドル
為替感応度	米ドル1円円高で+7億円/年
石炭	現状の調達計画を勘案 (豪州炭ベンチマーク価格:145.95ドル/t)
原油	85ドル/バレル(ドバイ)
古紙	足元の価格動向を勘案

2024年度 業績予想(2024年11月公表)



増減要因内訳

(億円)

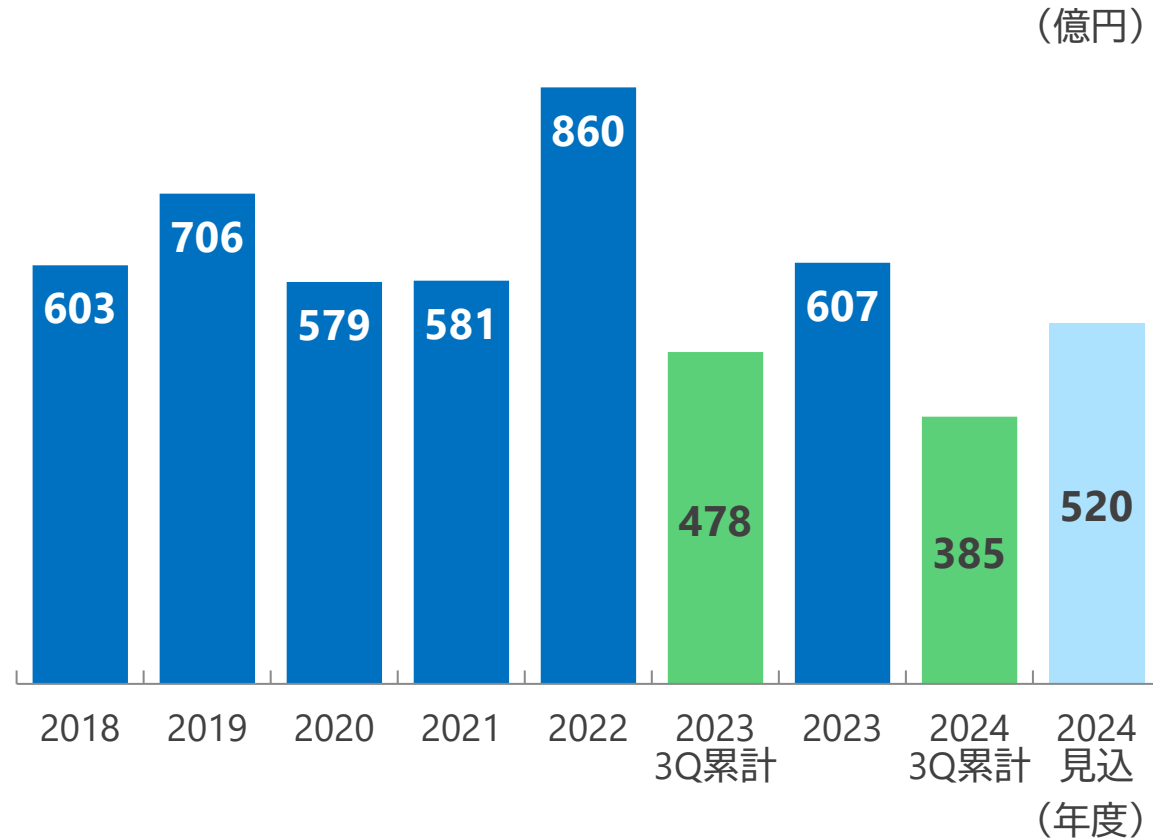
			紙・板紙事業	生活関連事業
数量・売価	84	▲13	—	97
原燃料価格	▲103	▲62	チップ▲50、古紙▲64、パルプ▲8、 重油▲13、石炭 101、LNG▲1、薬品他▲27 (価格影響 15、為替影響▲77)	▲41
コストダウン等	2	13	原価改善 76、労務費▲21、物流費▲42	▲11
その他	61	45	海外事業 19、減価償却 16、退職給付費用 41、 受払影響ほか▲31	16
合計	44	▲17	国内▲36、海外 19	61
その他事業	13	エネルギー 14、木建土▲13、その他 12		
営業利益	57	国内:パッケージ 6、ケミカル 27、 家庭紙・ヘルスケア 4 海外:Opal 38、NDP ▲14、TSP 0		

(千t)

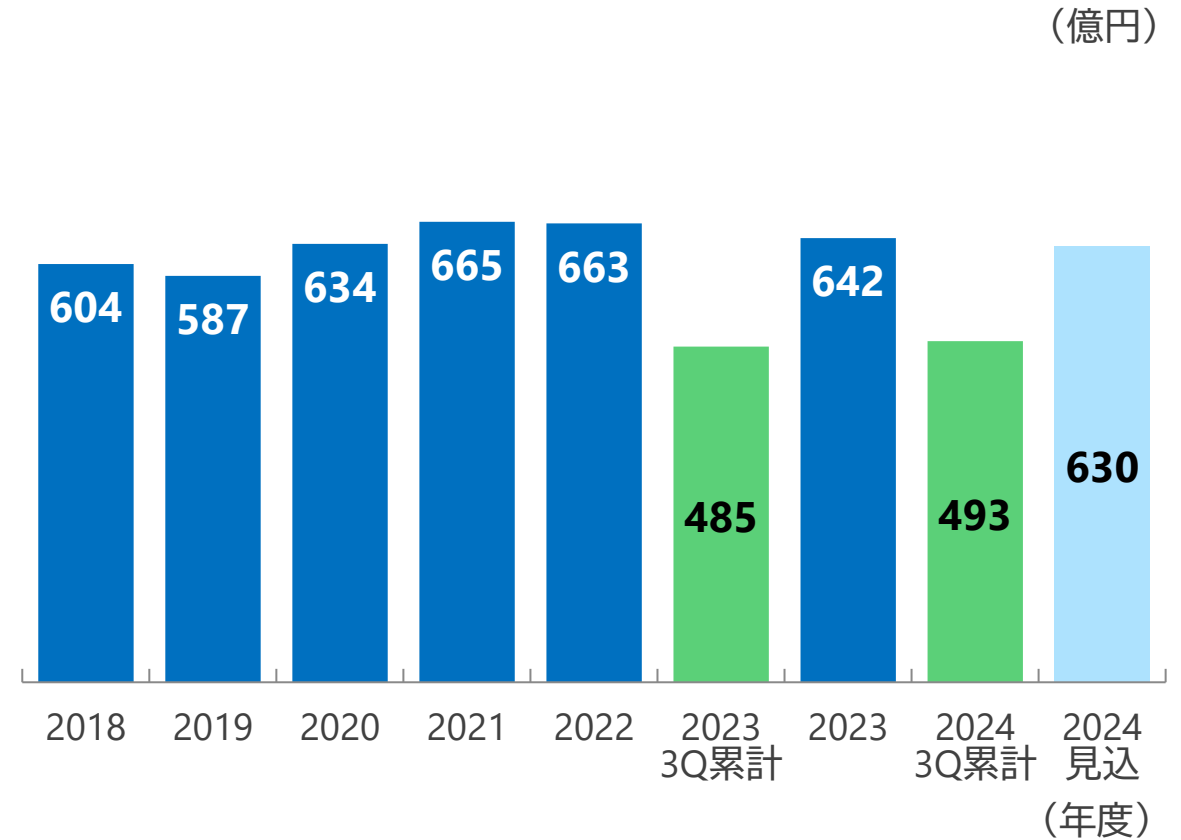
	2023年度 1Q-3Q累計	2024年度 1Q-3Q累計	対2023
新聞用紙	406	377	▲7.3%
印刷用紙	695	661	▲4.9%
情報用紙	285	273	▲4.4%
その他	217	223	3.1%
国内	1,604	1,534	▲4.4%
輸出	133	156	17.7%
洋紙 合計	1,736	1,690	▲2.7%
段ボール原紙	1,179	1,160	▲1.6%
紙器用板紙他	242	236	▲2.5%
国内	1,421	1,396	▲1.7%
輸出	87	85	▲1.7%
板紙 合計	1,507	1,481	▲1.7%
洋紙・板紙 合計	3,244	3,171	▲2.2%

* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計(衛生用紙除く)

設備投資額*



減価償却費



*建仮計上ベース

セグメント別 売上高推移



	2024年度			2024年度		
	1Q	2Q	3Q	上期実績	下期予想	通期予想
紙・板紙	1,419	1,412	1,463	2,831	2,819	5,650
生活関連	1,083	1,164	1,184	2,247	2,553	4,800
エネルギー	115	133	107	248	252	500
木材・建材・ 土木建設関連	184	193	180	377	373	750
その他	69	73	84	142	158	300
合計	2,870	2,975	3,018	5,845	6,155	12,000

セグメント別 営業利益推移



(億円)

	2024年度			2024年度		
	1Q	2Q	3Q	上期実績	下期予想	通期予想
紙・板紙	24	11	33	35	65	100
生活関連	▲20	▲71	22	▲91	71	▲20
エネルギー	5	12	3	17	13	30
木材・建材・ 土木建設関連	22	18	21	40	45	85
その他	10	10	11	20	15	35
合計	41	▲20	90	21	209	230



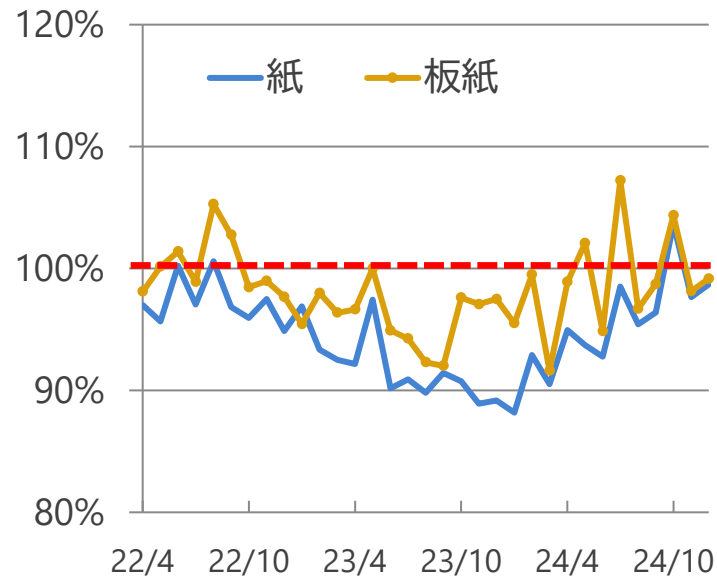
紙・板紙の国内出荷高と輸出入(2024年度 第3四半期) (千t)

	国内出荷高		輸出		輸入	
	数量	対2023	数量	対2023	数量	対2023
新聞用紙	1,137	▲8.1%	0	—	1	0.0%
印刷・情報用紙	3,494	▲4.8%	458	28.8%	385	▲1.0%
塗工印刷用紙※	1,842	▲5.7%	337	25.2%	70	▲16.0%
非塗工印刷用紙	945	▲1.4%	82	19.1%	9	8.7%
情報用紙	707	▲6.6%	39	118.9%	306	3.0%
その他	2,273	2.3%	203	15.1%	30	▲0.3%
紙 合計	6,904	▲3.1%	662	24.2%	416	▲0.9%
段ボール原紙	6,622	▲0.4%	562	▲1.3%	18	7.2%
紙器用板紙他	1,529	1.6%	34	11.3%	164	3.0%
板紙 合計	8,152	0.0%	596	▲0.7%	182	3.4%
紙・板紙合計	15,056	▲1.5%	1,257	11.1%	597	0.3%

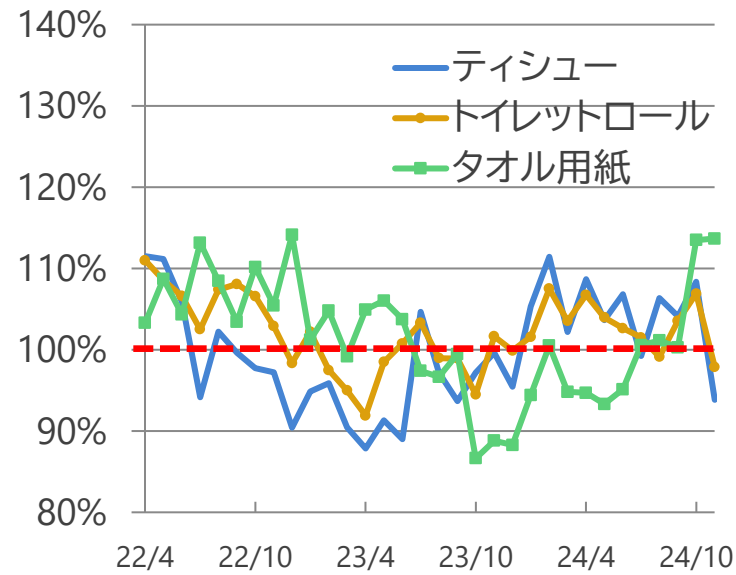
※塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

出所:日本製紙連合会、財務省貿易統計

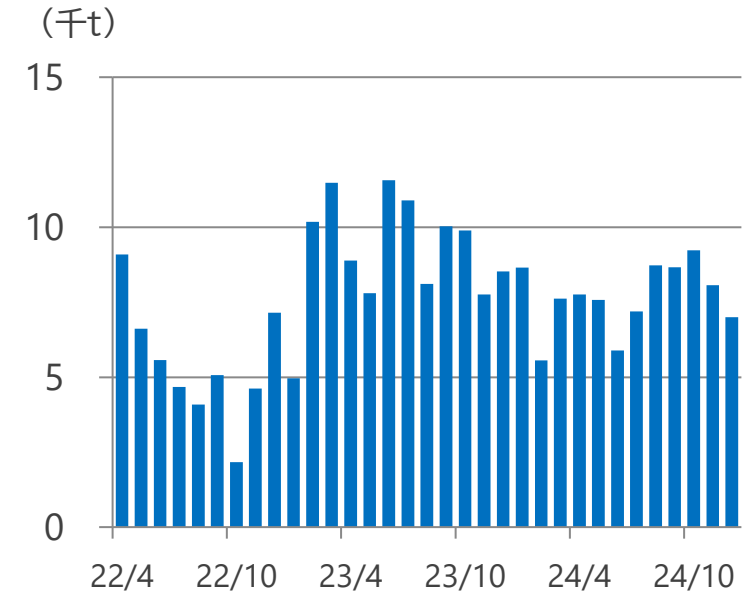
メーカー国内出荷量(対前年)



衛生用紙生産高(対前年)

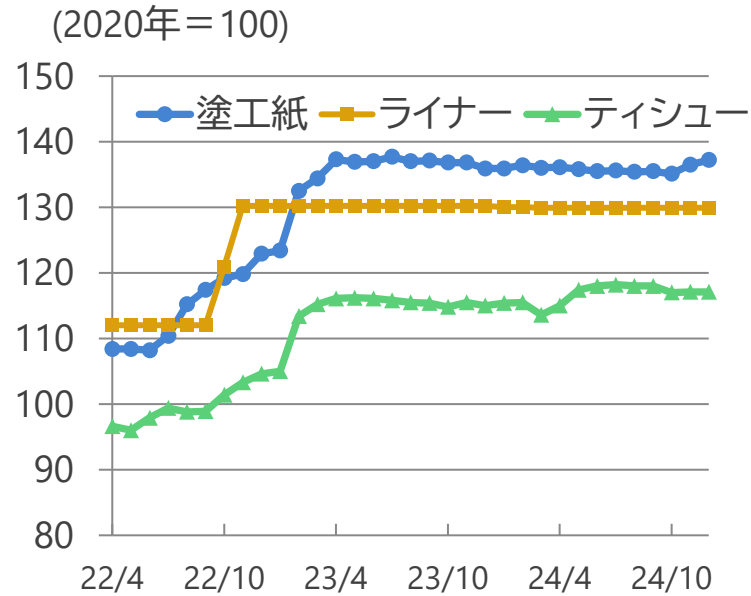


塗工紙輸入推移

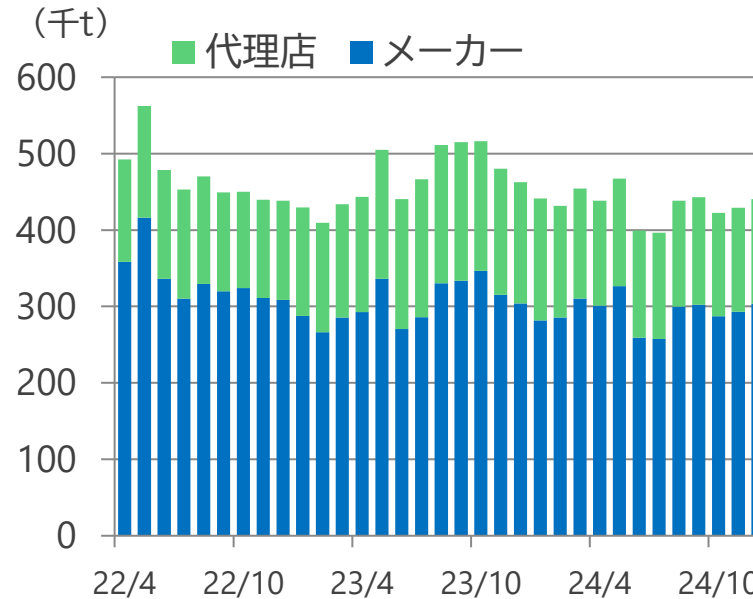


出所: 日本製紙連合会、経産省生産動態統計、財務省貿易統計

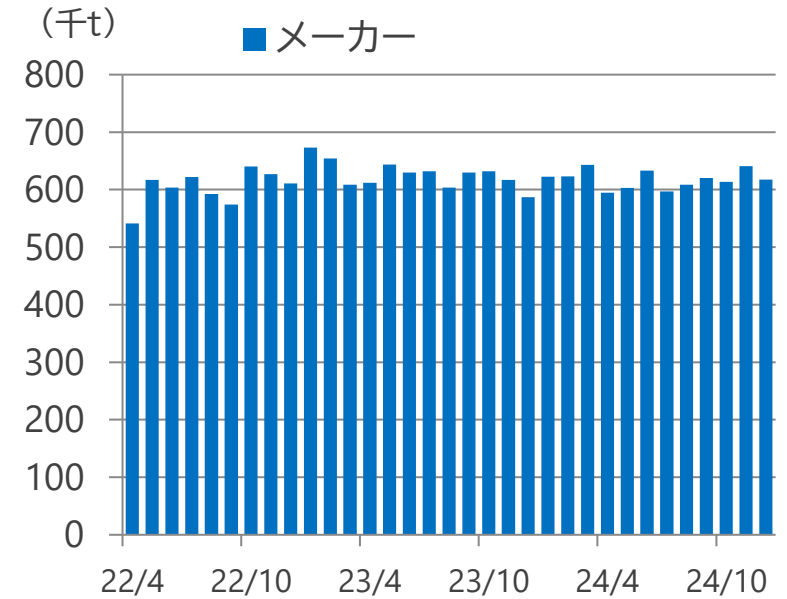
品種別価格動向



塗工紙在庫高推移

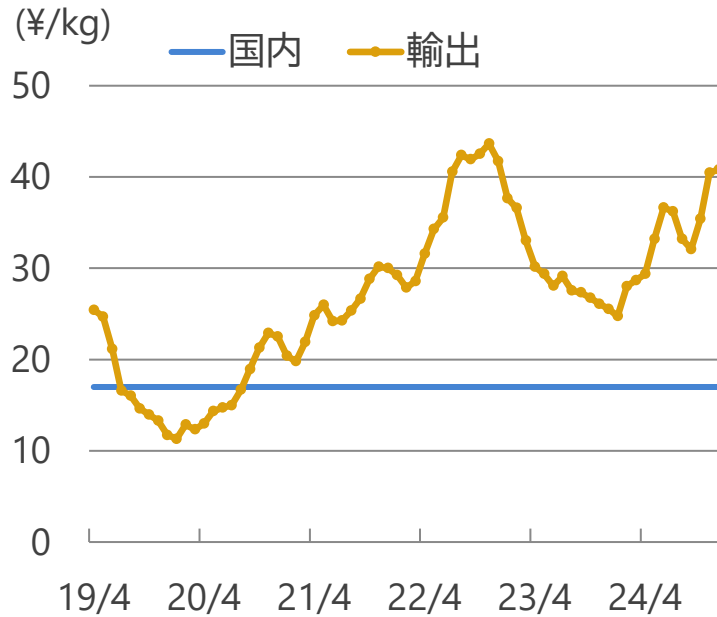


段原紙在庫高推移

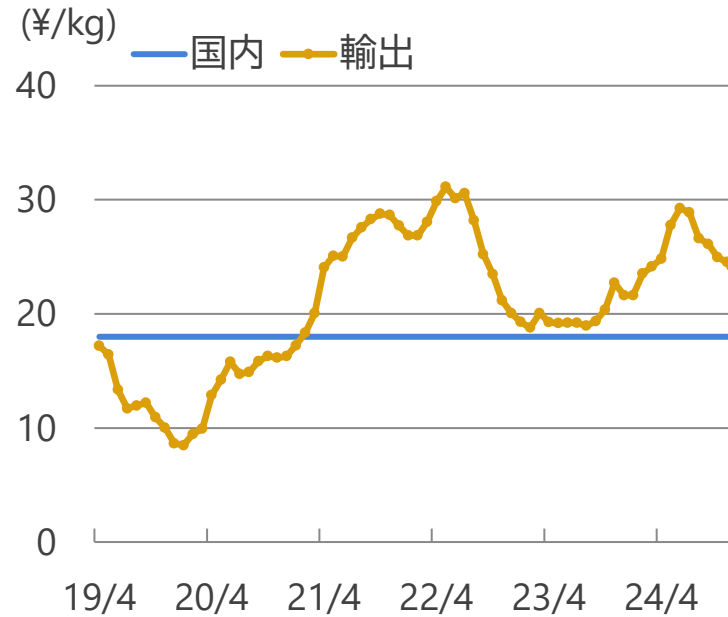


出所: 日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

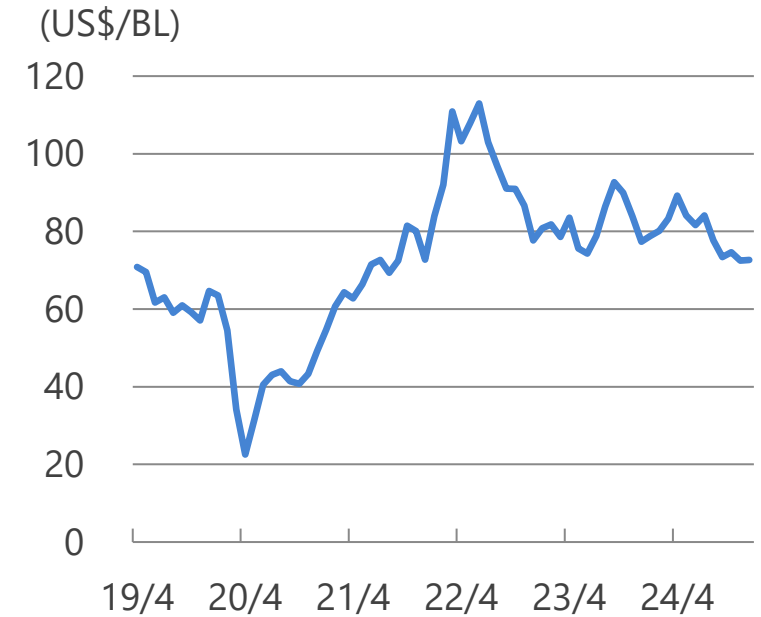
新聞古紙



段ボール古紙



原油



出所: 古紙再生促進センター、財務省貿易統計、日本経済新聞

日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

<注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社